

遺伝子組換え表示制度に関する検討会ヒアリング 意見

主婦連合会

◆遺伝子組換え表示を必要とする理由は、消費者の知る権利、選択の権利に応えるため

- 表示は消費者が商品・サービスを選択する際の最も重要な情報。消費者基本法の理念（消費者の権利の尊重と消費者の自立の支援）、及び食品表示法の基本理念（消費者に対し必要な情報が提供されることが消費者の権利であることを尊重する）のもと、わかりやすく、誤認させない表示とするための見直しを望みます。

<消費者の権利>

- 消費者が消費生活における基本的な需要が満たされ
- その健全な生活環境が確保される中で消費者の安全が確保され
- 商品、サービスを消費者が自主的かつ合理的に選択する機会が確保され
- 消費者に対し必要な情報及び教育の機会が提供され
- 消費者の意見が反映され
- 並びに消費者に被害が生じた場合には適切かつ迅速に救済されること

<消費者の自立>

- 消費者が自らの利益の擁護及び増進のため自主的かつ合理的に行動することが出来ること
- 環境の保全に配慮して行わなければならない

<事業者の責務>

- 消費者に対し、必要な情報を明確かつ平易に提供すること

- 遺伝子組換え表示は、選択に資するための表示として 15 年前に導入されましたが、表示義務のあるものには遺伝子組換え作物は使われず、義務でないものへの使用が広がり、結果として表示によって選択できる環境でないまま、また制度への理解が進まぬまま現在まで来ました。その間に世界の遺伝子組換え農産物の作付け面積は 40 倍にも増え、日本が大量の遺伝子組換え作物の輸入国であることも多くの消費者は知らずにいます。

ようやく始まった検討会では、真に知る権利に応え、選択に資する表示とするための抜本的な見直しを進めることを求めます。

◆購入しようとするものが「遺伝子組換え」であるか、否かをシンプルに判断できる表示制度を望みます

○ 今の表示方法は「遺伝子組換え」、「遺伝子組換え不分別」、「遺伝子組換えでない」(任意表示)の3つですが、実際に「遺伝子組換え」や「遺伝子組換え不分別」といった表示を目にすることは少なく、役に立つ情報ではありません。また、「不分別」といった表現もわかりやすいものとは言えません。

日本では8作物が遺伝子組換え作物として販売流通が認められていますが、遺伝子組換えである場合に表示義務があるのは、8作物と、それを原料に使用した納豆、豆腐、味噌など33種類の加工食品に限られ、表示義務の対象でない食用油や醤油などのほとんどが遺伝子組換えあることが消費者から見えません。義務対象のものに「遺伝子組み換えでない」との記載が多いことから、食品の購入にあたって、遺伝子組み換えか否かを「選択できている」と考えている消費者も多いようですが、誤解です。義務を原則すべての食品と飼料とする検討を進めて下さい。

○ 現制度は、義務表示品目と任意表示品目では「表示なし」の意味が逆なので、店頭で判断できないという欠陥を抱えています。義務表示品目の表示なしは「遺伝子組み換えではない」を意味し、任意表示品目のサラダ油の表示無しは実質的に「遺伝子組み換え」、または「遺伝組み換え不分別」(つまり混入)を意味しています。消費者へ適切な情報を提供出来ていません。

○ 「含有率が5%以下であれば表示義務なし」「意図しない混入率5%以下は表示義務なし」ですが、国際的にみても許容率は高過ぎます。可能な限り低い値とすべきです。

◆遺伝子組換えである場合に、「遺伝子組換え」と表示されることが望ましく、この表示がなければ遺伝子組換えでないことがわかる、という表示制度を望みます。従って、「遺伝子組換えでない」という表示は必要ないと考えます

わかりやすく誤認させない表示とするために、遺伝子組み換えのものに「遺伝子組換え」と表示することが望れます。「組換えでない」といった、その優位性を強調するような表示は知る権利の保障のためには必要なく、シンプルに使用がわかる表示を求めます。

◆最終製品からDNA・たんぱく質が検出できなくとも、輸入時の書類確認等で裏付けは可能であるはずです。義務表示の対象の限定をはずし、遺伝子組換えとそうでないものが、明確に選別可能な表示制度を望みます。制度の信頼性担保のため、トレーサビリティ制度の構築が必要です

検出技術は著しく向上したとも聞きます。国主導で、こうした食に関する研究が進むことも望むところですが、食品事業者や商社が取引の際に確認する書類等により、遺伝子組み換えであるか否か、確認出来るものと考えます。

また、生産から加工、流通、消費までの食品の移動を把握することは正確な表示を担保し、食の安全の向上のためにも必要です。トレーサビリティ制度の構築を求めます。

◆誰が・どこで・どのように作ったかがわかる食材を選ぶことや、地域で大切に育まれてきた農作物やその加工品を選ぶことは、国も推奨する消費者の役割であり、食育の観点からも重要です。そのために、食べ物の成り立ちがわかる、選びたいものを選ぶことのできる表示として下さい。